

事業番号	15 08 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	安全・安心な学校給食及び食育の推進事業	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課
		実施期間	不明～	E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	○家庭環境や社会環境の変化に伴い、朝食を欠食する児童生徒が増える傾向にあり、また栄養バランスが不十分な食事や子どもたちだけで食事をする孤食の状態にある児童生徒も一定程度存在する。 ○学校給食摂取基準が改定（H30.8.1）され、学校給食における食塩相当量の摂取基準値が2g未満（小学校高学年及び中学校は2.5g未満）となった。長野県では全国的にも成人の食塩摂取量が多い傾向にあり、信州ACEプロジェクトにおいても減塩が課題となっている。
	【目指す姿】
	○児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、心身の健全な発達を促している。 ○学校給食を活用した食に関する指導及び家庭への情報発信により、児童生徒の食生活全体の改善を促している。
	【実施内容】
	栄養教職員の研修実施、夜間定時制高等学校夜間学校給食の実施、学校給食用食材の放射性物質検査 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	
			1	朝食を欠食する児童生徒の割合(%)					小6 3.0	—		3.4%
		中3 5.1	—		5.0%	→				33,271	23,806	
2	学校給食における1食当たりの食塩相当量(単独調理場)	小学校2.5g	2.4g	↑	2.3g	↑	現状以下		達成	合計(A)	33,271	23,806
		中学校3.0g	2.8g	↑	2.8g	→						
	学校給食における1食当たりの食塩相当量(共同調理場)	小学校2.6g	2.5g	↑	2.4g	↑	現状以下		達成	うち一般財源	29,054	23,806
		中学校3.2g	3.0g	↑	3.0g	→			決算額(B)	29,054	21,673	

成果指標設定理由	①朝食をきちんと食べることは、望ましい生活習慣の形成につながりやすいこと等から、朝食欠食率とした。 ②児童生徒が薄味(減塩食)に慣れることは、将来に渡る健康的な食習慣の習得につながることから、学校給食における食塩相当量とした。
----------	--

達成状況の分析	①朝食を欠食する児童生徒の割合における、令和2年度の小6の欠食率が平成30年度の結果より0.4ポイント上がっており、朝食欠食が進んでいる。また、「児童生徒の食に関する実態調査」(令和元年度)において、「休みの日に寝ていたかった」「お腹が空いていなかった」等の回答が増加したことから、生活スタイルの乱れから欠食が増えているのではないかと推察される。 ②学校給食における食塩相当量が減少し、目標を達成した。
---------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓つなげる食育推進事業(文部科学省委託事業)での取組内容と成果の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と学校が連携し、市内全学校で計画的に食育を実施している須坂市の取組を各方面で発表し、他地域でも実践する足掛かりとなるよう周知。 ✓児童生徒の食に関する実態調査(令和元実施)結果とその対策についての普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・週末の生活スタイルが朝食欠食率の下がらない一因と推察され、中学生でその傾向が高い。朝食欠食が習慣化しないように、中学校における食育に重点をおく必要性を研修会等で周知。 ✓学校給食における減塩の取組支援 <ul style="list-style-type: none"> ・長野県の食塩摂取量の状況を周知(課題を共有)。 ・地域で連携し減塩を推進する取組を研修会等で紹介。
------	--



コロナ禍においても大切な食育の時間

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい食習慣を身に付けていくための児童生徒への指導及び家庭への周知がすべてに等しく実施されていない。令和元年度に実施した「つなげる食育推進事業」での指導方法や啓発の在り方を関係団体・機関と連携し県全体に進めていく必要がある。 ・食塩相当量の平均値は減少しているが、個々のデータを見ると各施設で差があり、全体で減塩となるよう取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つなげる食育推進事業」で実践した、小中9年間を通して食育を体系づけ計画的に実施する効果的な指導の在り方を新たにモデル校を設定して実施できるよう調整を進めるとともに、令和元年度に実施した成果を様々な機会を通して発信し他地域へ広げる取組を行う。 ・各施設(単独調理場、共同調理場)が、国の示す食塩相当量の摂取基準値に近づくよう、減塩の工夫や効果的な取組を研修等で周知・啓発していく。

事業番号	15 08 02	細事業一覧（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	安全・安心な学校給食及び食育の推進事業		部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決算	R 2 年度 決算
1	夜間定時制高等学校夜食費		17,228 千円	14,911 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	夜間定時制高等学校における夜食学校給食（夜食）の実施	直接	夜食に係る食材料費を補助（1食当たり71円税込） 弁当校（11校）、補食校（3校）の person 費相当額（食材加工に係る経費）を負担	
2	夜間定時制高等学校における夜食学校給食（夜食）の実施	委託	調理委託校（1校） 調理業務委託経費を負担	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決算	R 2 年度 決算
2	学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業費		576 千円	101 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	学校における食育推進体制の充実	直接	栄養教諭キャリアアップ研修 I（35名受講） 栄養教諭・学校栄養職員研究協議会（2回）	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決算	R 2 年度 決算
3	安心・安全のための学校給食環境整備事業費		6,380 千円	6,661 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	学校給食用食材の放射性物質検査	直接	県内 4 教育事務所で給食用食材の事前検査実施 検査実績 1,361検体 全て不検出（H23からの累計 22,390検体）	